

山陰
まんなか
共和国
中山・大田・大田・大田

中海・宍道湖 ・大山圏域 市長会 通信⑬

今年度で設立10年目となった中海・宍道湖・大山圏域市長会。今後も圏域版総合戦略のテーマである『住みたくなる圏域づくり』の実現に向け、取り組んでいきます。

●第2回総会・意見交換会

2月12日に総会で令和3年度の事業計画と当初予算について協議し、事業方針を確認しました。

総会に続いて、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との意見交換会を開催。これまで圏域市長会と圏域経済ブロック協議会とともに推進してきた「圏域内インフラ整備の促進」を目的に圏域経済の発展と地方創生につながる将来の圏域交通ネットワークについて、意見交換しました。

●ケララ・山陰オンライン

ビジネスフォーラム

圏域とインド・ケララ州とのさらなる経済連携の促進を図るため、2月16日にビジネスフォーラムをオンラインで開催しました。当日は、両地域の取り組み紹介やインドで事業展開する圏域企業



▲エマークイック・プロの使用方法を紹介する様子。

の取り組み報告等が行われ、両国の行政や企業関係者106人が参加しました。

●産学・医連携事業で

新製品を開発

同市長会が事業委託する中海・宍道湖・大山圏域産学・医連携推進協議会では、この度、救急隊員を飛沫感染リスクから守る使い捨ての飛沫感染防止ボックス「エマークイック・プロ」を開発しました。

鳥取県西部広域行政管理組合消防局や圏域企業と連携して開発されたエマークイック・プロ。2月26日には、記者説明会が開催され、製品の使用実演等が行われました。

問い合わせ：中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局
☎0852-55-5056

安来市加納美術館日より
☎36-10880

加納莞菴が教科書に
載りました

全国の中学生が、今年から使用する社会科の歴史教科書（文科省検定教科書 義務教育では無償配布）に、加納莞菴が取り上げられました。安来市の中学生もこの教科書を使用します。中学生のお子さんがおられるご家庭は、ぜひ教科書を開いてみてください。

莞菴がフィリピンのキリノ大統領と握手をしている写真が紹介され、莞菴が手紙を出し続けたことと平和への思いが書かれています。



▲キリノ大統領と握手する加納莞菴。同じ写真が教科書に掲載されています。



▲社会科の歴史教科書に掲載。

また、昨年からは市内の小学校の修学旅行先の一つとして選ばれており、美術館でも励まされています。これからもたくさんの方に訪れていただきたいと願っています。

安来市加納美術館
リニューアル
オープン

オープンを記念して「安来ゆかりの美術家たち」と題して、安来市出身の芸術家の作品を展示します。

期間 6月19日(土)～7月12日(月)
入場料 無料

YouTubeで加納莞菴の画業の発信を始めました。詳しくは当館のホームページ(下のQRコード)をご覧ください。

